

先月18日、厚労省の専門部会は、本年4月からの带状疱疹ワクチン定期接種化の方針を了承しました。これに先立つ12月5日、公明党市議団の代表質問において、(市長から)「定期接種化が決定した際に即時に対応ができるよう、必要な検討を進める」との答弁を頂いておりました。(原稿作成を酒井が担当)

詳細は、今後検討が進められることとなりますが、市民の皆さまが活用しやすい制度となるよう、引き続き取り組んでまいります。

TOPICS 4 「新湾岸道路プロジェクト」が始まりました!

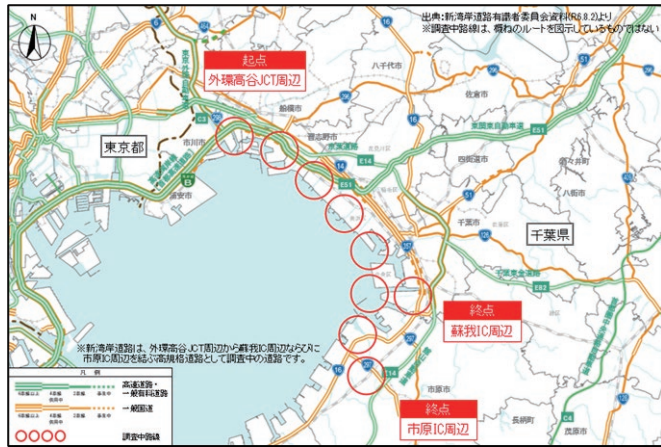
新湾岸道路は、「千葉県広域道路交通計画」等で位置づけられた外環高谷JCT周辺から蘇我IC、市原IC周辺を結ぶ調査中の道路です。今後も交通需要の増大が見込まれる一方、慢性的な渋滞が発生するなど課題となっております。

昨年12月から本年2月にかけて、沿線の各市が国や県とともに、「パネル展示」及び「対話方式による説明会」を行っております。

皆さまのご意見をお寄せください。



ご意見はこちらから▶



さかい通信 2025 新春号



千葉開府900年の節目に向けて

平安時代後期の1126年6月1日、桓武平氏である平高望(たいらのたかもち)の子孫、常重(つねしげ)は、現在の緑区大椎町から中央区亥鼻付近に本拠地を移し、初めて「千葉」と名乗りました。これをもって千葉のまちとしての歴史が始まったとされています。

そこで、6月1日を「千葉開府の日」、2026年を「千葉開府900年」として位置づけ、様々な取り組みが行われております。

(右記は、昨年末に採用されたロゴマークとキャッチコピーです。)

大きな節目に向けたこの1年、市民の皆さまの負託に応えるべく、全力で働いてまいります。



新庁舎とモノレール駅の連絡通路が供用開始



TOPICS 1 学校体育館・エアコン整備の加速を



神谷市長に要望

整備加速を求めてきた学校体育館のエアコン整備について、部活動で使うことが多い中学校(54校)、高校(2校)、特別支援学校(3校)から実施設計が進められておりますが、新年度から2ヶ年の予定で順次設置する方針が示されました。

本件は、令和元年台風(19号)の折、避難所となった地域の体育館に行った際、10月であったにも関わらず非常に暑かったことから、議会質問で取り上げたものです。

国においても活発に議論されておりますが、小学校(107校)の整備についても極力前倒しされるよう、取り組んでまいります。

TOPICS 2 「子ども発達相談室」が開設されました

昨年11月、障がいのある子どもとその家族への支援を充実させるため、発達障がいの早期発見・早期支援を図るための「子ども発達相談室」が開設されました。

「お友達とうまく遊べない」「言葉の発達がゆっくり」「落ち着きがない」など、ご心配なことがありましたら、お気軽にご相談ください。

事前予約制となっております。市のHP(右の2次元バーコード)の「申し込みフォーム」からお手続きください。

ご予約はこちらから▶



◎場所:中央区問屋町1-35 千葉ポートサイドタワー9階  
◎開室時間:月曜日から金曜日、9:00~17:00(土・祝日及び12月29日から1月3日は除く)  
◎相談:来所相談(事前予約制)で心理士等の専門スタッフが、継続してご相談をお受けします

※不明点は相談室まで! 043-441-8268(直通)

HOT ニュース

千葉市の「SDGs債」 「第9回サステナブルファイナンス大賞」で地域金融賞を受賞

千葉市では、SDGsの取組みに対する理解促進や市債の投資家層拡大を図るため、令和5年8月以降、サステナビリティボンド、ブルーボンド、グリーンボンドを計3回、総額で130億円を発行。この発行を通して、通常債を発行する場合と比較して低利率な資金調達を行うことができ、利子負担を約3,000万円軽減できたうえ、地元企業をはじめとした新規投資家の開拓も進めることができました。

これまで発行したSDGs債のうち、ブルーボンドは国内自治体として初の発行である点等が評価され、(表題の通り)一般社団法人環境金融研究機構が主宰する大賞を受賞しました。調達した資金は、環境問題や海洋保全等に資する事業(清掃工場や浄化センター整備、学校環境改善など)に活用されております。



私自身、2017年第3回定例会で初めてSDGsの推進について取り上げて以来、市の基本計画への反映や各部署の積極的な取組みを、繰り返し促してきました。その結果、現在の新たな基本計画にはSDGsの理念が反映されるとともに、その達成に向けた施策が整理され、その中でSDGs債の取組みも始まりました。

市政に関するご意見、ご要望など、みなさまの声をお聞かせください。

千葉市議会議員 酒井 伸二 | 〒260-0822 千葉市中央区蘇我3-5-14 Tel.090-2910-3925

ホームページは「酒井伸二」で検索ください! http://www.facebook.com/sakai.cc e-mail:sakai\_chiba@outlook.jp



## 令和6年 第4回 定例会 一般質問より

去る12月12日、一般質問に登壇しました。  
市民の皆さまからお寄せ頂いた声をもとに、質問をしました。  
右の2次元バーコードから録画中継をご覧になれます。  
是非ご覧ください。

録画放映はこちらから!→



## 路線バスの減便への対応について



●ここ2年で約9,330便から約7,950便に減便

今回の質問で、市内路線バスの運行本数は、ここ2年で約1,380便の減便があり、主に「中央区東南部」や「緑区の一部」で減便の割合が高く、要因は運転手不足との答弁がありました。

●大蔵寺・南生実エリア、浜野千葉線への対策を

大蔵寺は平日上下30→16便に、南生実は同54→4便に。浜野千葉線は平日土日全65→22便に。対応を求めたところ、前者は「事業者から運転手が確保された場合には復便の可能性がある」「運転手確保に努める」、後者は「運行便数が維持できるよう、運転手養成支援に努めるとともに、(今年度予算に計上している)支援事業の活用について検討していく」主旨の答弁がありました。

問題が長期化していることから、効果的な路線再編を含め、スピード感のある対応を求めました。

## 本市の契約における労務費の上昇への対応について

昨年の春闘では賃上げ率が34年ぶりの高水準となったほか、最低賃金も上昇が続いていることから、総務省からは全国の自治体に対し、契約における労務費等の変化に適切な対応が図られるよう通知が出されています。

●清掃や警備など、複数年の委託契約における「スライド条項」の適用を

改善を求める市内事業者からの声をもとに市の対応を伺ったところ、「現在、国で清掃や警備に関するマニュアルの作成に取り掛かっており、注視していく」との主旨の答弁がありました。

●一般廃棄物収集運搬業務における「働き方改革」を踏まえた積算を

本件も業界の関係者からお話を伺い、市の対応を伺ったところ、「働き方改革等を踏まえた人材確保の状況にも留意しつつ、適正な積算を行っていく」との主旨の答弁がありました。

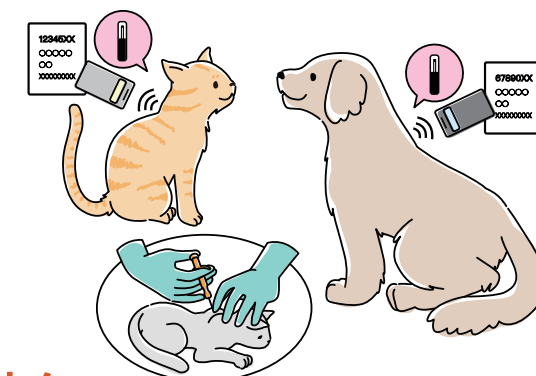
## 人と動物の共生する社会づくりについて

●犬猫へのマイクロチップ装着の促進を

災害時など、飼い主と離れてしまった犬猫の速やかな返還につながるほか、飼い主が判明せず殺処分される犬猫の減少や遺棄の抑止にもつながります。市のセンターから譲渡の際にマイクロチップを組み込むことや、装着に関する狂犬病予防法の特例制度への参加を求めたところ、「他自治体を参考に検討する」「課題を整理し対応方法を検討していく」との主旨の答弁がありました。

●新たな愛護センターにおける「啓発・教育」の充実を

10月に開催された「仮称・動物愛護センターの整備に係る意見交換会」の参加者から頂いた声をもとに、「啓発・教育」の充実を中心に質問。当局からは「動物とのかかわり方を発信し、学びを提供する施設と位置づけ整備する」との主旨の答弁があったほか、「動物福祉と5つの自由」(左ページの図)の啓発を求めたところ「積極的に取り組む」とのこと。その他、室内ドッグランの整備の検討も求めました。



## 生物多様性の認知向上、啓発について

生物多様性は、世界的な環境問題として、気候変動と同時期に問題提起されながらも、認知度は極めて低く、(感染症とも深い関係を持つことから)コロナ禍を経て近年、ようやく温暖化とセットで考えるべきとの流れが生まれてきました。

●効果的な市民啓発を

本市には、生物多様性の意義を発信する動物公園があるほか、新たな博物館の建設が期待される加曾利貝塚博物館では、当時の豊かな自然が育んだ生物多様性が、縄文人の長きにわたる定住生活に重要な役割を果たしていたことを発信しています。また、市内の生物多様性保全に取り組む



動物福祉と5つの自由



環境部門では、若葉区に建設中の新清掃工場周辺を、体験活動を含む環境教育の拠点とすることを目指しています。これらの機関が効果的に連携することで、千葉市ならではの「誇りの醸成」につながる市民啓発ができると訴えました。

昨年11月に千葉市動物公園で開催されたZOOフェスタ2024では、ダニ博士で著名な国立環境研究所の五箇公一先生と日本動物園水族館協会の成島悦男顧問が講演。生物多様性について、その重要性を再認識する機会に。4月には、公園内の動物科学館もリニューアルされます。皆さまも是非、足を運んでみてください。